

教育理念

今 吹田から未来の力を

いのち 生命かがやき ともにつながり
未来を拓く吹田の教育

6つの注目施策

市は教育理念の実現をめざし、平成22年度から31年度までの10年間を計画期間とする「わが都市すいたの教育ビジョン」を策定し、さまざまな教育施策を実施しています。平成27年に社会の変化や新たなニーズに対応するため、同ビジョンの中間見直しを行った際、新しい取り組みを始めようとしていた施策を、「6つの注目施策」としました。今回はこの注目施策の取り組み状況などをお知らせします。

☎教育政策室(朝日町) ☎6155・8084 ☎6155・8077



① 幼児教育を充実

【中間見直し時の状況】

公立幼稚園では、一人ひとりの発達に応じた幼児教育を行うとともに、未就園児の保育活動や子育て相談など安心して子育てできる環境づくりを進めてきました。さらに公立幼稚園の認定こども園化を推進し、保育の量的拡大・確保などを図ることにしました。

【保育連携型認定こども園「はぎのき」こども園開園】

平成30年4月に古江台幼稚園と北千里保育園を一体化。

【幼稚園型認定こども園を8園開園】

待機児童解消に向けて平成27年4月～30年4月に新たに8園を開園。

子ども・子育て支援新制度のもと、質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供を進めていきます。

② 小中一貫教育を推進

【中間見直し時の状況】

千里みらい夢学園と各中学校ブロックの課題に並び、小中学校の系統立ったカリキュラムを作成・活用することで、確かな学力と落ち着いた学習環境づくりに努めてきました。

【小中一貫教育カリキュラムの編成】

平成30年度中に各教科などのカリキュラムを各中学校ブロックで作成。

【小学校外国語活動・外国語科への対応】

平成29年度からすべての小学校で1年生から英語教育を実施。



「主体的・対話的で深い学び」をめざし、新学習指導要領に対応した授業づくりを進めていきます。

③ 教育力を高める研修を充実

【中間見直し時の状況】

団塊の世代の退職などにより、経験年数が10年以下の教職員が約6割に達しました。これまで培ってきた教育を継承するとともに、教職員の研修の充実を図り、学校全体の教育の質を高めることにしました。

【教職員研修を約200講座実施】

教職員のキャリアアステーションや専門性に応じた研修を実施。小中一貫教育、英語(外国語)教育、人権教育、子供理解、生徒指導、特別支援教育、学級づくり、学校運営など。



今日の課題や教育現場のニーズを反映させた研修などを計画的に実施し、今後も教職員の資質の向上に努めます。

④ 放課後の居場所を充実

【中間見直し時の状況】

国のプランに先行して、留守家庭児童育成室と太陽の広場をすべての小学校で連携して実施しました。また、同室については対象学年を延長する事業計画を策定しました。

【同室の児童が太陽の広場プログラムへ参加】

太陽の広場の新たな取り組みとして、スポーツ教室、工作、囲碁、将棋などを行う「活動プログラム」を32校で133講座実施(平成29年度)。

【同室・太陽の広場、学校の連携】

連携会議を35校で実施。合同避難訓練を28校で実施。(平成29年度)。

同室の入室児童が増加し続けていますが、4年生までの受入れが確実に行えるよう努めていきます。

⑤ 安心・安全で快適な教育環境

【中間見直し時の状況】

平成27年度に全校舎の耐震補強工事を実施しましたが、全体の8割を超える校舎や体育館が築30年以上経過し、老朽化対策などが必要となっています。より快適な教育環境の実現に向け、トイレの改善などに取り組むことにしました。

【小中学校の老朽化対策】

校舎大規模改修事業及び屋内運動場大規模改修事業(平成28年～36年度に実施)、トイレ施設整備事業(平成28年～32年度に実施)。



引き続き教育環境の整備を進めるとともに維持・保全に努めます。

⑥ 開かれた教育行政

【中間見直し時の状況】

市は平成23年度から市長と教育委員の懇談を定期的に行い、連携を図ってきました。

【総合教育会議の設置】

市長と教育委員会で構成。平成27年度から9回実施。「吹田市教育大綱」や「いじめ防止基本方針」を策定。

市長と教育委員会がこれからの吹田の教育について、協議・調整することで教育政策の方向性を共有し、一致して取り組んでいきます。

今後も教育理念の実現に向け、就学前、小中学校、放課後も含めた子供たちを取り巻く、さらなる教育環境の向上をめざしていきます。